

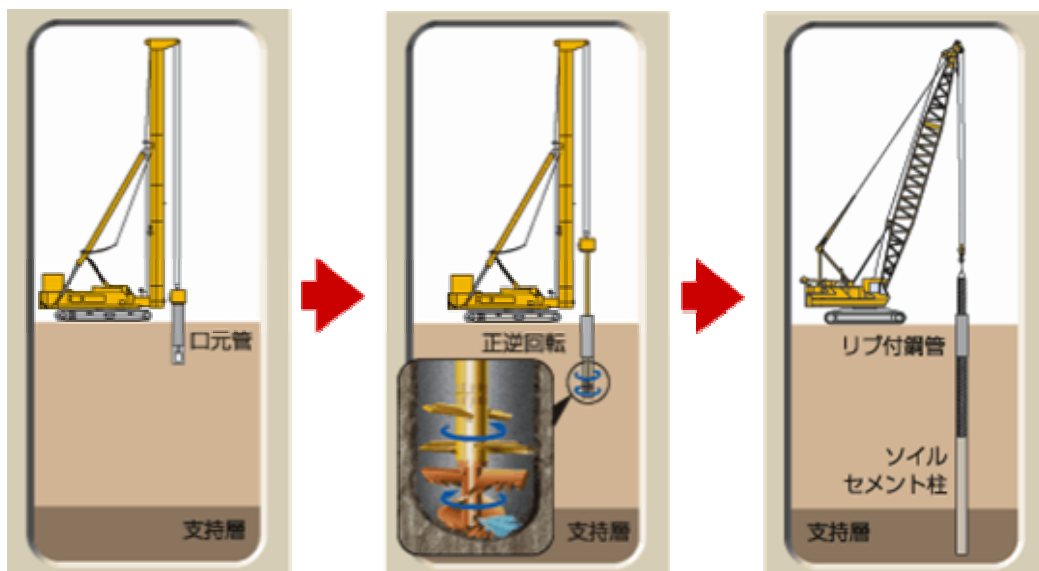


HYSC杭(鋼管ソイルセメント杭工法)

後沈設施工法

■ 施工手順

先行掘削機、掘削攪拌機、クローラークレーンがそれぞれの作業(先行掘削、ソイルセメント柱造成、鋼管建込み)を並行して行えるため、全体の施工時間を短縮することができます。また、長尺杭の場合、事前の鋼管溶接により溶接分の時間短縮が可能です。



1. 口元管内部掘削

地表から順次ソイルセメント柱を造成した場合、セメントミルク注入量相当分のソイルセメントがオーバーフローし、産業廃棄物としての処分が必要となってきます。これら为了避免するため、セメントミルク注入量相当分の土量を口元管内からあらかじめ排土し、ソイルセメントの残土が発生しないようにします。

2. 掘削・攪拌

口元管内に掘削・攪拌ロッドを設置し、ロッド先端からセメントミルクを注入しながら掘削攪拌を行ない、ソイルセメント柱を造成します。掘削攪拌ロッドは上の写真に示すように、それぞれ二つの翼を持った内外二重ロッド構造となっており、それらを反対方向に回転させて、ソイルセメントの均一性を高めています。注入するセメントミルクは杭一般部では貧配合のものを、杭先端部では先端支持力の確保のため富配合のものを使用します。

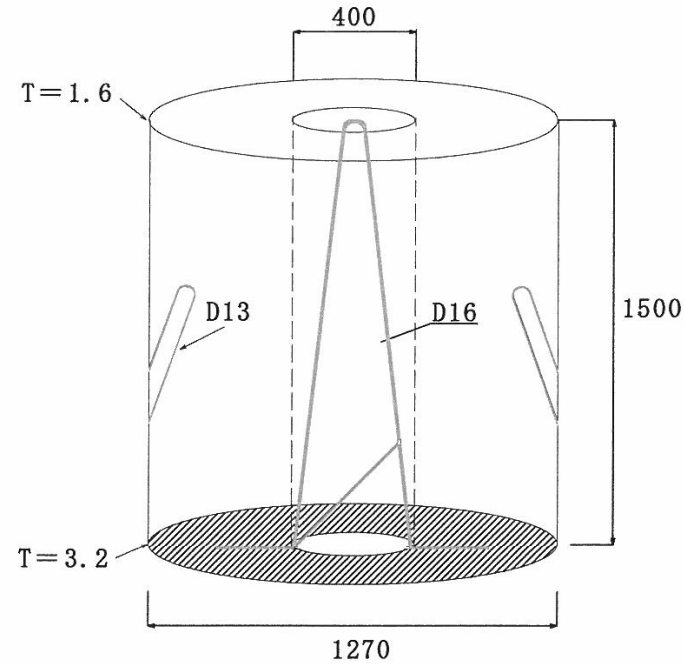
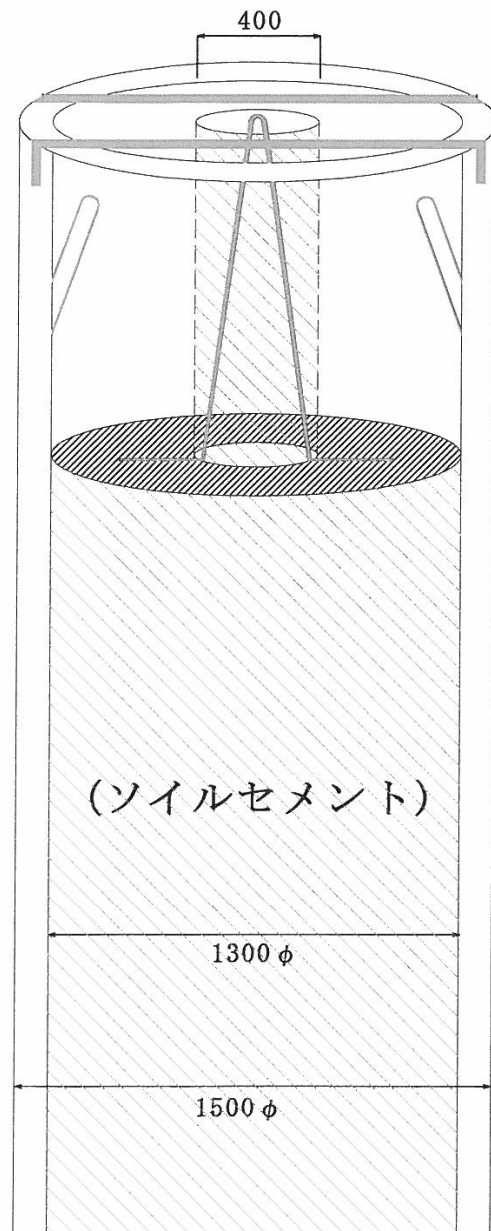
3. リブ付鋼管の建込み

ソイルセメント柱造成後まだ固まらないうちに、リブ付鋼管を柱体内部に建込みます。鋼管長が長く、現場溶接が必要な場合は、建込み時に溶接するか、あるいは、あらかじめ鋼管を横置きにして溶接を行います。

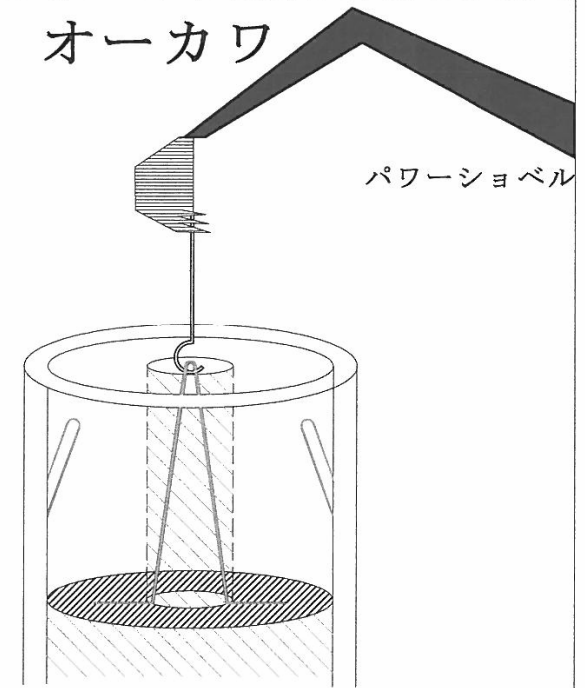
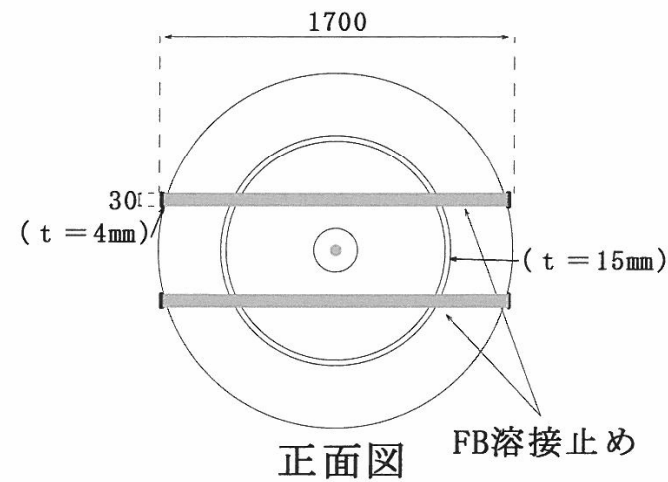
新商品

ソイルキャップ(後沈設工法)

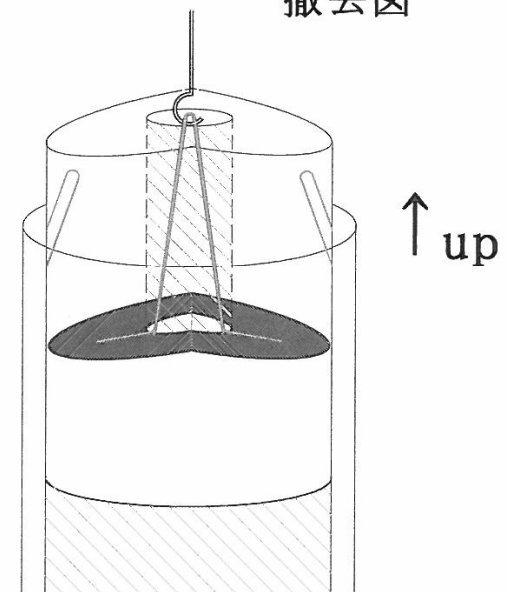
オーカワ



状況図



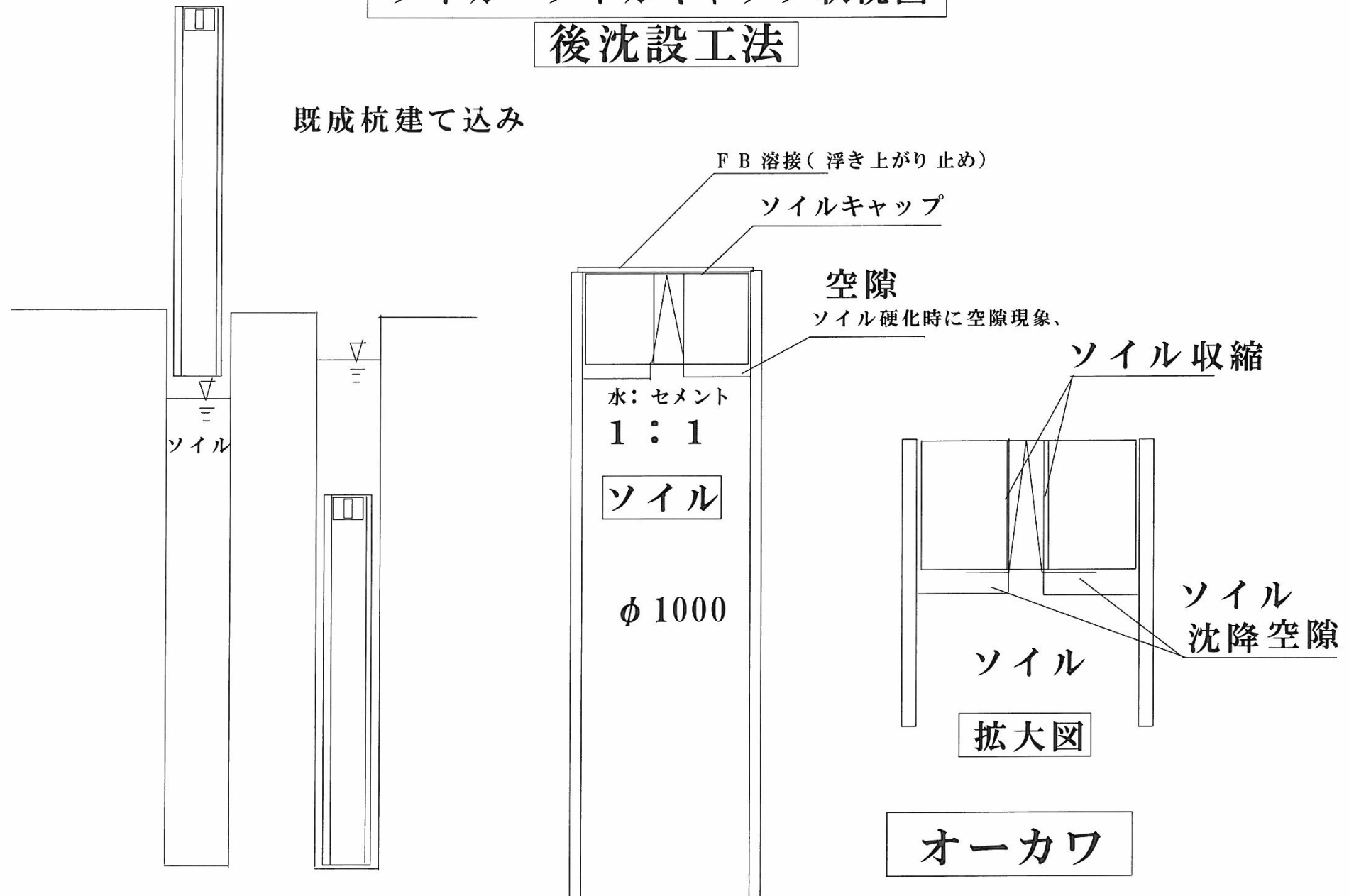
撤去図



ソイル・ソイルキャップ状況図

後沈設工法

既成杭建て込み



上板



外板



底板







